

日本統計学会 75 周年記念事業・第 2 回研究集会

日時：2006 年 12 月 16 日(土) 9:30～

17 日(日) 10:00～

場所：中央大学後楽園校舎新 3 号館 14 階

プログラム

セッション 1: Computer Intensive Statistics 16 日

オーガナイザー: 杉山 高一 (中央大学、記念事業委員長)

ブートストラップ法の最近の展開: 仁木 直人 (東京理科大学)

高次元データへのパーミュテーションテストの応用: 杉山 高一、酒折 文武 (立教大学)

最近の計算機技術と統計ソフトウェア: 中野 純司 (統計数理研究所); 総合討論: 藤越 康祝 (中央大学)



セッション 2: 統計数理科学の新たな地平

オーガナイザー: 栗木 哲 (統計数理研究所)

総合討論: 栗木 哲

確率微分方程式モデルの統計的推測の展望: 内田 雅之 (九州大学)

カーネル法: 再生核を用いた機械学習の方法論: 福水 健次 (統計数理研究所)

積分幾何を用いた統計分布理論の発展と多重比較への応用: 栗木 哲 (統計数理研究所)

セッション 3: 知識創出のための統計科学研究の振興と教育政策

オーガナイザー: 渡辺 美智子 (東洋大学)

総合討論: 渡辺 美智子

統計科学研究推進の重要性: 伊藤 裕子 (文部科学省 科学技術政策研究所)

次期指導要領の改定に向けた理数教育の強化と統計内容の位置付け: 渡邊 公夫 (早稲田大学)

セッション 4: 社会調査と統計科学 17 日

オーガナイザー: 岡太 彬訓 (立教大学) 総合討論: 岡太 彬訓

心理・教育統計学の現状と未来: 前川 眞一 (東京工業大学)

高齢者を対象とした調査の現状と課題: 木村 好美 (大阪市立大学)

科学的「世論」調査法の価値—歴史と理論と実践の三位一体—: 吉野 諒三 (統計数理研究所)

75 周年記念事業と協賛で、臨床研究・生物統計研究会が 16 日(土)に中央大学の同じ新 3 号館 3 階で開催されます。

基調講演 21 世紀に向けた統計学の挑戦的課題と展望: 藤越 康祝 (中央大学)

セッション 5: 統計科学とマーケティング

オーガナイザー: 和合 肇 (名古屋大学)

総合討論: 中島 望 (大阪大学)

Predicting Product Purchase from Inferred Customer Similarity : Gary Russell (University of Iowa)

個人レベル RFM 分析と顧客生涯価値: 阿部 誠 (東京大学)

価格閾値の推定と価格カスタマイゼーションの可能性: 照井 伸彦 (東北大学)

問い合わせ先

文京区 春日 1-13-27

中央大学理工学部

(杉山高一、鎌倉稔成
竹田裕一)

jss75@jss.gr.jp



交通案内

地下鉄が便利です。

丸の内線・南北線「後楽園」
都営三田線・大江戸線「春日」
地上出口から富坂上る5分
(JRは水道橋から10分
東京ドームの先)